

# 日本臨床衛生検査技師会認定センター

## 認定病理検査技師制度指定講習会 実施要領

### 1. 講習目的

病理診断は「診断の最後の砦、最終診断」とされ、これまでも国民の医療に深くかかわってきた。近年はとくに「がん診療の分野」で、術中迅速診断およびコンパニオン診断を用いた薬物療法の適応の判断など、病理部門が医療の中で果たす役割は毎年拡大の一途を辿っている。

このたび国の「がん診療体制提供の在り方に関する検討会」では、10年ぶりとなる「がん診療の見直し」が議論され、現在の「がん診療連携拠点病院」には機能強化の一環として「常勤病理医の配置」「術中迅速病理診断標本作製を含む病理診断室の設置」が、また新たに創設される「がん診療病院」では「術中迅速病理診断標本作製を含む病理診断室の設置」がそれぞれ必須要件として加えられた。

そのような社会的背景の中で、病理部門が「最終診断」として国民に対しての責務を十分に果たしていくためには、「標準化された精度の高い病理標本作製技術」が必要であり、それを維持していくことが我々に課せられた使命であろう。また病理標本作製技術の特殊性の観点から、臨床検査技師としての技術を基盤としてさらに病理技師としての専門的知識・技術を習得、習熟することが重要であり、その標準化と客観的評価が必要であると考えられる。

一般社団法人日本病理学会からの期待およびご協力のもと、平成26年よりスタートする日臨技病理認定検査技師制度について、その設立の目的や方向性、および職務内容等について解説し、当認定制度の果たすべき目的について理解する。

### 2. 主催 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

### 3. 受講資格

5年以上の病理検査実務経験を有する日臨技会員（臨床検査技師）で、「日臨技生涯教育研修制度」修了者（平成7年～25年度に修了証書を受領した者）。

且つ、

認定病理検査技師制度を受験する意思を有する者。

**4. 募集人員** 200名（最大）

都道府県技師会（長）からの推薦人数の目安は次の通り。

500名未満の会員数の技師会	1名以上
500名～999名の会員数の技師会	2名以上
1000名～1499名の会員数の技師会	3名以上
1500名～1999名の会員数の技師会	4名以上
2000名～2499名の会員数の技師会	5名以上
2500名～2999名の会員数の技師会	6名以上
3000名～3499名の会員数の技師会	7名以上
3500名～3999名の会員数の技師会	8名以上
4000名～4499名の会員数の技師会	9名以上
4500名～5000名の会員数の技師会	10名以上

注）会員数が医療機関分布に比例する想定で、医療施設数に応じた認定病理検査技師がバランスよく確保されるための推薦人数目安。

なお、事情により都道府県技師会（長）の推薦を受けない応募となる場合は本講習会の連絡先（14に下掲）までご相談ください。ただし、都道府県技師会（長）から推薦人数により定員を満たす場合は受けられない場合があります。

**5. 受講申請** 申請書（別紙1）を受講申請者が記入の上、都道府県会長の推薦を添えて日臨技事務局宛に郵送する。

《郵送先》〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会事務局

**6. 募集締切** 平成26年7月7日（月）必着

**7. 講習期間** 平成26年7月19日（土）13時～平成26年7月21日（月）12時半

**8. 講習会場** タイム24ビル 9階  
ソフトバンク通信3社青海キャンパス 大会議室  
〒135-8073 東京都江東区青海2丁目4番32号  
ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車徒歩約2分  
りんかい線「東京テレポート」より無料巡回バス約3分

**9. 受講料** 10,000円

10. 交通費等 本人負担（宿泊費を含む）
11. 講習内容 平成 26 年度 日臨技認定センター「認定病理検査技師制度指定講習カリキュラム」を参照。
12. 修了証発行 研修会全課程修了者に発行する。日臨技生涯教育研修制度専門教科 40 点を付与。
13. 受講決定通知  
受講申請の受付都度、受講者本人に書面で通知する。  
平成 26 年 7 月 7 日の募集締切をもって、受講者一覧を都道府県会宛てにメール報告する。
14. 連絡先 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 TEL03-3768-4722  
Mail: [jamt@jamt.or.jp](mailto:jamt@jamt.or.jp)  
担当執行理事：横地  
事務局 担当 島村・辻

以上

## 平成 26 年度 日臨技認定センター「認定病理検査技師制度指定講習カリキュラム」

### 1 日目 『 認定病理検査技師制度の目指すところ』

**目的** 平成 26 年よりスタートする日臨技認定病理検査技師制度について、その設立の目的や方向性、および職務内容等について解説し、当認定制度の果たすべき目的について理解する。

#### スケジュール

7月 19 日	
12:30-	受付開始
13:00-13:30	開講式
13:30-14:00	オリエンテーション
14:00-15:00	講演 1 『認定病理検査技師の役割と方向性 (仮)』 名古屋市立大学 滝野 寿 先生 (座長 千葉県こども病院 中山 茂)
15:00-15:10	休憩
15:10-16:10	講演 2 『病理診断科の目指すところ ―病理医の立場から― (仮)』 東京大学 佐々木 毅 先生 (座長 熊本大学 徳永 英博)
16:10-16:20	休憩
16:20-17:20	講演 3 『日臨技が実施している認定制度について (仮)』 日臨技理事 横地 常広 先生 (座長 東京医科歯科大学 萩原 三千男)
16:20-16:30	休憩
16:30-17:30	講演 4 『認定病理検査技師に必要な技能 part.1 テレパソロジー・バーチャルスライド等の機器操作に必要な知識と技能 (仮)』 旭川医療センター 東 学 先生(座長三重大 白石泰三先生)

## 平成 26 年度 日臨技認定センター「認定病理検査技師制度指定講習カリキュラム」

### 2 日目 『日常の病理検査技術の能力を高める』

目的 病理検査室における日常業務の中で重要な項目を取り上げ、標準的な方法および精度管理に必要な知識を身につける。

#### スケジュール

7月 20 日	
9:00-10:00	講演 5 『認定病理検査技師に必要な技能 part.2 検体受付から薄切まで (仮)』 筑波大学 古屋 周一郎 先生(座長 熊本大学 徳永 英博)
10:00-11:00	講演 6 『認定病理検査技師に必要な技能 part.3 特殊染色の標準化と精度管理 (仮)』 小田原市立病院 磯崎 勝 先生 (座長 熊本大学 徳永 英博)
11:00-11:10	休憩
11:10-12:10	講演 7 『認定病理検査技師に必要な技能 part.4 免疫組織化学染色のピットホール(仮)』 東海大学 芹澤 昭彦 先生 (座長 名古屋市立大学 滝野 寿)
12:10-13:00	休憩・昼食 ※ランチョンセミナー(自由参加・昼食付)
13:00-14:00	講演 8 『認定病理検査技師に必要な技能 part.5 術中迅速標本作製に必要な知識と技能 (仮)』 熊本大学 徳永 英博 先生(座長 名古屋市立大学 滝野 寿)
14:00-15:00	講演 9 『認定病理検査技師に必要な技能 part.6 病理解剖介助に必要な知識と技能 (仮)』 三重大学 白石 泰三先生(座長 名古屋市立大学 滝野 寿)
15:00-15:10	休憩
15:10-16:10	講演 10 『認定病理検査技師に必要な技能 part.7 <i>in situ</i> hybridization に必要な知識と技能 (仮)』 防衛医科大学 廣井 禎之先生(座長 札幌医科大学 東 恭悟)
16:10-17:10	講演 11 『病理検査における精度管理の重要性(仮)』 香川大学 羽場 礼次先生 (座長 札幌医科大学 東 恭悟)

## 平成 26 年度 日臨技認定センター「認定病理検査技師制度指定講習カリキュラム」

### 3 日目 『病理検査室運営におけるマネジメント能力を高める』

目的 病理検査室を運営するに当たり、リスクマネジメント、感染症対策、作業環境の整備などについての講義を行い、日常の病理検査業務運営に役立つ幅広い知識を身につけることを目的とする。

#### スケジュール

7月 21 日	
9:00-10:00	講演 12 『認定病理検査技師に必要な技能 part.8 危機管理リスクマネジメントに必要な知識と技能 (仮)』 ひたちなか総合病院 根本 誠一 先生 (座長 名古屋市立大学 滝野 寿)
10:00-11:00	講演 13 『認定病理検査技師に必要な技能 part.9 病理検査室におけるバイオハザード対策に必要な知識と技能 (仮)』 藤田保健衛生大学 平沢 浩 先生 (座長 札幌医科大学 東 恭悟)
11:00-11:10	休憩
11:10-12:10	講演 14 『認定病理検査技師に必要な技能 part.10 病理検査室における作業環境対策に必要な知識と技能 (仮)』 日本医科大千葉北総病院 清水 秀樹 先生 (座長 熊本大学 徳永 英博)
12:10-12:30	閉講式
12:30-13:00	(前日)ランチョンフォロー説明会(自由参加・喫茶付)

注) ランチョンセミナーとフォロー説明会については、別紙資料をご参照ください。  
弁当・喫茶の準備のため、ご参加を希望される場合、予め受講申請書にてお申込みを承ります。

会場周辺の土日に営業する飲食店が少なく、「休憩・昼食」時間も 50 分と短いため、受講者の便を考慮し、本ランチョンセミナーが企画されております。